

日本医用画像工学会 2017 年度総会 議事録

会 期：2017 年 7 月 28 日（金） 13:10～13:55

会 場：じゅうろくプラザ 第 1 会場（2 階 ホール）

出席者：出席 52 名 委任状 44 名

議事：1. 出席 52 名、委任状 44 名の合計 96 名で総会が成立することが確認された。

2. 尾川会長より開会のご挨拶があった。

3. 恒例により異議なく尾川会長に議長が一任された。

4. 審議事項

（1）2016 年度事業報告および 2017 年度事業計画

1) 大会関係について原口常任幹事より報告された。

2) 学術・渉外について花岡常任幹事より報告された。

3) 国際担当について佐藤副会長より報告された。

4) 編集委員会について湯浅編集委員長より報告された。

5) 広報委員会について上村広報副委員長より報告された。

6) 教育委員会について原常任幹事より報告された。

事業報告、事業計画について承認された。

（2）2016 年度決算報告

1) 2016 年度決算報告について小尾常任幹事より報告された。

2) 2016 年度決算報告会計監査報告について安藤監事より報告され、承認された。

（3）2017 年度予算案について小尾常任幹事より報告され、承認された。

（4）役員人事について原口常任幹事より報告され、承認された。

（5）JAMIT 定款附則の変更について原口常任幹事より報告され、承認された。

（6）「功労賞規程」の新規制定について原口常任幹事より報告され、承認された。

5. 報告事項

（1）第 35 回大会『大会奨励賞』の受賞者の紹介がされた。

（2）2016 年田中栄一記念賞（MIT 誌論文賞）の受賞者が紹介され、湯浅編集委員長より受賞の経緯の説明があり、授賞式を行った。

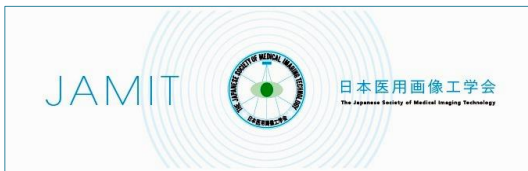
田中栄一先生より、今年度についても 100 万円の寄付をいただいたことが報告された。

（3）第 37 回大会について工藤大会長よりご挨拶があった。

6. 尾川会長より閉会のご挨拶があった。

以上

第36回日本医用画像工学会総会 (JAMIT2017)



進行次第

1. 開会の辞
2. 審議事項
 - (1) 2016年度事業報告および2017年度事業計画
 - (2) 2016年度決算報告および会計監査報告
 - (3) 2017年度予算案
 - (4) 役員人事、他
3. 第35回大会「大会奨励賞」授賞者報告
4. 2016年度「田中栄一記念賞」(MIT誌論文賞) 授賞者報告
5. 第37回大会長の挨拶
6. 閉会の辞

次回第37回大会(JAMIT2018) 7月25~27日 工藤 博幸大会長
於筑波大学大学会館 (日程、場所、ともに予定)



2017年度総会式次第

1. 開会の辞
2. 審議事項
 - (1) 2016年度事業報告および2017年度事業計画
 - (2) 2016年度決算報告および会計監査報告
 - (3) 2017年度予算案
 - (4) 役員人事、他
3. 第35回大会「大会奨励賞」授賞者報告
4. 2016年度「田中栄一記念賞」(MIT誌論文賞) 授賞者報告
5. 第37回大会長の挨拶
6. 閉会の辞



2017年度総会式次第

2. 審議事項

- ① 2016年度事業報告および2017年度事業計画
 - 大会関係
 - 学術・渉外担当
 - 国際担当
 - 編集委員会
 - 広報委員会
 - 教育委員会 (事業担当報告含む)
- ② 2016年度決算報告および会計監査報告
- ③ 2017年度予算案
- ④ 役員人事について
- ⑤ 定款附則の変更について
- ⑥ 功労賞規程の制定について



事業報告および事業計画：大会関係

・2016年度報告

第35回大会を、羽石 秀昭 大会長 (千葉大学) のもとに、千葉大学にて開催した。(7月21日~23日 / 参加者数: 362名・演題数: 133)

・2017年度報告

第36回大会を、藤田 広志 大会長 (岐阜大学) のもとに、じゅうろくプラザにて開催する。(7月27日~29日)

・2018年度予定

第37回大会を、工藤 博幸 大会長 (筑波大学) のもとに、筑波大学大学会館にて開催する。(7月25日~27日)

※日程、場所、ともに予定



事業報告および事業計画：学術・渉外 連合フォーラム活動等

2016年度活動報告

1. JAMIT Frontier 2017 (メディカルイメージング連合フォーラム) を開催
(電子情報通信学会MI研, 医用画像情報学会, 日本写真学会, 日本生体医工学会共同開催)
 - ・ 期日: 2017年1月18日 (水)
 - ・ 場所: 那覇市ぶんかテンス館
 - ・ 参加者数131名 発表件数53件
2. International Forum on Medical Imaging in Asia (IFMIA) 2017を開催
 - ・ 期日: 2017年1月19日 (木), 20日 (金)
 - ・ 場所: 那覇市ぶんかテンス館

2017年度活動計画

1. JAMIT Frontier 2018 を開催予定
 - ・ 期日: 2018年3月?
 - ・ 場所: 未定
2. 3次元画像コンファレンス2017を幹事学会として開催
 - ・ 期日: 2017年7月6日 (木), 7日 (金)
 - ・ 場所: 千葉大学
 - ・ 備考: 幹事学会は5学会の持ち回り。ただしJAMITの幹事参加は今回が最後。



2016年度報告・2017年度計画 国際担当

IJCARS JAMIT2015&2016大会特集～ 第2回JAMIT2017&2018大会特集号



2014 IF=1.707 2016 IF=1.863
2015 IF=1.827

Editor-in-chief Lemke 教授との会議

(担当: 稲邑、清水、佐藤)

- 2015年4月 横浜
IJCARS-JAMIT特集号に向けての基本合意
- 2015年10月 独・ミュンヘン
論文募集方式、スケジュールの協議
- 2016年6月 独・ハイデルベルグ
査読者選定方式、査読方式等の協議

2017年4月 横浜

第2回IJCARS-JAMIT特集号の基本合意

CARS 2022 日本開催立候補の打診(2018年6月提案書)

2017年6月 スペイン・バルセロナ

第2回特集号の論文募集方式、スケジュールを 第1回と同様とすることで合意



CARS

Computer Assisted Radiology and Surgery



2016年度報告・2017年度計画 国際担当

IJCARS JAMIT2015&2016大会特集～ 第2回JAMIT2017&2018大会特集号

- ・ 2015年9月中旬
- JAMIT2015からIJCARS特集に推薦 (奨励賞+αから選択)
- ・ 2016年5月18日
- JAMIT2016 演題登録者の中で投稿希望者はCARS形式のExtended Abstractを提出
- ・ 2016年7月4日
- 投稿予定論文の再確認締切り
- ・ 2016年8月15日
- IJCARS投稿締切り
- ・ **2017年5月 IJCARS, Vol. 12, Issue 5 に掲載**
(31本投稿中 7本掲載、当初計画より1～2ヶ月の遅れ)
- ・ 2017年8～9月 JAMIT 2017から投稿依頼論文の推薦予定

IJCARS に掲載された特集号の巻頭言 May 2017, Volume 12, Issue 5

Guest editorial for the IJCARS special issue on JAMIT 2015 and 2016

Authors: Akinobu Shimizu, Naohiro Sato, Kiyonori Inamura

Editorial: First Online: 08 April 2017
DOI: 10.1007/s11548-017-1583-x

Cite this article as: Shimizu, A., Sato, N. & Inamura, K. (2017) CARS 2015/17: 185-190. doi:10.1007/s11548-017-1583-x

This special issue of the International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery (IJCARS) presents a selection of the works presented at the 34th and 35th annual conferences of the Japanese Society of Medical Imaging Technology (JAMIT). The 34th conference was held from 30 July to 1 August 2015 at the Kanazawa theatre in Kanazawa. The 35th annual conference was held from 21st to 23rd July 2016 at Koyaki Kaikan of Chiba University in Chiba, Japan. We are extremely grateful that we are able to deliver this special issue, which is based on the strong collaboration of IJCARS and JAMIT.



編集委員会2016年度活動報告

1/3



MEDICAL IMAGING TECHNOLOGY
日本医用画像工学会

(1) 雑誌の発行

- Vol. 34, No. 4 『特集: 医用イメージングにおける圧縮センシングとその周辺+一般』
- Vol. 34, No. 5 『JAMIT2016大会査読付き論文+一般』
- Vol. 35, No. 1 『特集: 画像処理非エキスパート研究者のための画像処理入門+一般』
- Vol. 35, No. 2 『特集: 産官学連携・医工連携における課題と展望+一般』
- Vol. 35, No. 3 『特集: 実用的なCADシステムのための臨床医からの期待と提言+一般』

(2) 原著論文投稿・掲載状況 (Vol.33, No.4～Vol.34, No.3)

投稿数 (2015年19件 -> 2016年24件)
掲載数 (2015年12件 -> 2016年10件)

(3) 投稿規定・執筆要領の改訂

倫理規範の順守 (ヒトや動物を対象とする研究、利益相反) の項目を追記

(4) 投稿票提出の義務化および投稿用テンプレートファイルの改訂

倫理規範の順守を投稿票および論文内に明記することを要請



編集委員会2017年度活動予定

2/3

(1) 雑誌の発行

- Vol.35, No.4 『特集：医用画像処理分野のディープラーニング応用と研究開発＋一般』
- Vol.35, No.5 『JAMIT2017大会査読付き論文＋一般』
- Vol.36, No.1 『特集：被曝線量管理技術＋一般』
- Vol.36, No.2 『特集：医用画像処理におけるディープラーニング利用入門＋一般』
- Vol.36, No.3 『特集：医用画像における微細解剖構造解析＋一般』

(2) 雑誌改善の検討

- ・ オープンアクセスジャーナルに向けての具体的な取り組み、平成30年度の開始を目指す
- ・ 読者の興味を引く特集の企画

論文投稿のお誘い

皆様方の積極的な研究成果の投稿をお願いします。



編集委員会の構成

3/3

(委員長) 湯浅哲也 (山形大)

(副委員長)

企画・対外担当 杉本直三(京都大)

投稿担当 田島英朗(放医研)

審査担当 滝沢穂高(筑波大)

特集担当 小田昌宏(名大)

(委員)

鈴木秀宣(徳島大), 健山智子(広工大), 臼井圭介(順天堂大),
 畑中祐司(滋賀県立大), 花岡昇平(東大), 銭谷勉(弘前大),
 菅幹生(千葉大), 小橋昌司(兵庫県立大), 黒田嘉宏(阪大),
 池田充(名大), 横田太(奈良先端大), 大竹義人(奈良先端大),
 大石悟(東芝メディカル)



活動報告および活動計画：広報委員会

1/2

・ 広報委員会について

委員長	山谷泰賀	放射線医学総合研究所 (PET工学)
副委員長	上村幸司	香川大学 (医療情報工学)
委員	北坂孝幸	愛知工業大 (CAD工学)
	菅 幹生	千葉大学 (MRI工学)
	田中利恵	金沢大学 (放射線科学)
	中田典生	東京慈恵会医科大学 (超音波診断)



活動報告および活動計画：広報委員会

2/2

・ 2016年度事業報告

- ホームページの管理 (jamit.jp)
 - ・ (株)メイプロジェクトに管理委託
- eNews Letterの発行
 - ・ 非会員でも見れる情報誌。JAMITの発展に貢献することを主目的として、試行的継続。
 - ・ 今年度実績
 - No.25 2016年12月 通算No.79
 - No.26 2017年04月 通算No.80
 - No.27 2017年07月 通算No.81



・ 2017年度活動計画

- HP管理、eNews Letter発行を継続予定



活動報告：教育委員会

1/2

2016年度活動報告

・CADコンテスト（第8回）の開催

課題：3次元腹部CT像への肝腫瘍の埋め込み（※前回と同テーマ）

日程：2016年6月 参加申込期限
2016年7月 処理結果提出期限
2016年6月～7月 評価作業（医師・技師約10名による）
2016年7月22日 結果発表 ※第35回大会会場（千葉市）にて

・CAD勉強会の開催

第20回：2016年5月11日 @名大（コンテスト説明会）

・オープンディクショナリー班（班長：平野 靖）の成果公開

・画像データベースの販売

件数：計3件
（内訳：マンモ（1），間接胸部X線（1），腹部CTVol.1,2（1））



活動報告：教育委員会

2/2

2016年度活動報告

－ チュートリアル講演会の開催

- ・開催日：2016年7月21日（木）
- ・場所：千葉大学西千葉キャンパスけやき会館（第35回大会会場）
- ・ディナーニング – その基礎と医用画像応用 –
画像処理の基礎と応用の間
本谷 秀堅（名工大）
Deep Neural Network の基礎
庄野 逸（電通大）
Image-based Neural Networksの医用画像処理・認識応用
鈴木 賢治（イリノイ工科大）



活動計画：教育委員会

1/2

2017年度活動計画

－ チュートリアル講演会の開催（総会時には実施済み）

- ・開催日：2017年7月27日（木）
- ・場所：じゅうろくプラザ（岐阜市）（第36回大会会場）
- ・コニカミルタ科学技術振興財団 JAMITハンズオンセミナーと連携企画として実施

「深層学習の基礎，応用，実装，期待」

人工知能，機械学習と深層学習の基礎と応用
田村哲嗣（岐阜大学工学部）

深層学習のためのGPUシステム構築と研究・開発における運用
山崎和博（エヌビディア合同会社 ディープラーニングソリューション アーキテクト）

人工知能システムの医学応用とその期待
木戸尚治（山口大学）



活動計画：教育委員会

2/2

2017年度活動計画

－ コニカミルタ科学技術振興財団 JAMITハンズオンセミナー「深層学習体験」の実施

- ・CADコンテストの次期企画として実施。
- ・開催日：大会期間中2017年7月28日（金）と29日（土），90分のセミナーを5回実施。
- ・スタッフ（原 武史，小田昌宏，周 向栄，福岡大輔，村松千左子，篠原範充，李 鎔範，松原友子）

－ 画像データベースの新規開発（事業担当）

- ・新規DBの開発と販売



2017年度総会式次第

2. 審議事項

① 2016年度事業報告および2017年度事業計画

- 大会関係
- 学術・渉外担当
- 国際担当
- 編集委員会
- 広報委員会
- 教育委員会（事業担当報告含む）

② 2016年度決算報告および会計監査報告

- ③ 2017年度予算案
- ④ 役員人事について
- ⑤ 定款附則の変更について
- ⑥ 功労賞規程の制定について



2016年度決算 収入

2016年4月1日から2017年3月31日まで

1. 収入の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 正会員費	4,340,000	4,235,000	△ 105,000	正会員 351名、入会金 23名
2. 学生会員費	360,000	511,000	151,000	学生会員 129名(2015年分5名含む)
3. 賛助会員費	1,200,000	1,360,000	160,000	賛助会員 17口
4. 図書会員費	290,000	300,000	10,000	20000円×13、10000円×4
5. 会誌別刷代	1,000,000	1,518,342	518,342	
6. 大会事業収入	3,700,000	4,156,400	456,400	
7. CAD DB	150,000	92,190	△ 57,810	
8. ハンドブック販売収入	162,000	121,064	△ 40,936	
9. 雑収入	20,000	104,771	84,771	
10. 2015年度未収金未計上分		160,000	160,000	
当期収入合計 (A)	11,222,000	12,558,767	1,336,767	
前年度繰越金	7,938,729	7,938,729		定期預金含む
収入合計 (B)	19,160,729	20,497,496		



日本医用画像工学会 殿

日本医用画像工学会の平成28年度の決算報告書(表)を監査の結果、内容に相違ないことをここに承認致します。

2017年6月22日 監事 安藤 裕

2017年6月22日 監事 川原 祥 芳



2017年度総会式次第

2. 審議事項

① 2016年度事業報告および2017年度事業計画

- 大会関係
- 学術・渉外担当
- 国際担当
- 編集委員会
- 広報委員会
- 教育委員会（事業担当報告含む）

② 2016年度決算報告および会計監査報告

③ 2017年度予算案

- ④ 役員人事について
- ⑤ 定款附則の変更について
- ⑥ 功労賞規程の制定について



2017年度予算 収入

2017年4月1日から2018年3月31日まで

I. 収入の部

(単位：円)

科 目	17予 算 額	16予 算 額	備 考
1. 正会員費	4,220,000	4,340,000	@1000x20 入会金 @12000x350 年会費
2. 学生会員費	480,000	360,000	@4000x120
3. 賛助会員費	1,360,000	1,200,000	賛助会員17口
4. 図書会員費	390,000	290,000	@10000x3口 @50000x2口 @20000x13口
5. 会誌別刷代収入	1,000,000	1,000,000	
6. 大会事業収入	4,000,000	3,700,000	大会事業支出と同額
7. CAD DB 販売収入	100,000	150,000	
8. ハンドブック販売収入	100,000	162,000	ハンドブック発売20部
9. 雑収入	20,000	20,000	
10. 雑益	0	0	
当期収入合計 (A)	11,670,000	11,222,000	
前年度繰越金	10,328,833	7,938,729	
収 入 合 計 (B)	21,998,833	19,160,729	



2017年度予算 支出

II. 支出の部

(単位：円)

科 目	17予 算 額	16予 算 額	備 考
1. 会誌発行費 5回 35 巻3,4,5号,36 巻1,2号	4,300,000	4,300,000	ニュースレター含む
2. 大会事業費 1回	4,000,000	3,700,000	大会事業収入支出と同額
3. 表彰費	200,000	200,000	
事業補助金			
4. JAMIT FRONTIER大会補助費	100,000	100,000	
5. オープンディクショナリ研究会補助費	0	100,000	
事業費			
6. ハンドブック販売経費	10,000	10,000	
7. CAD DB 製作費	50,000	50,000	
幹事会・常任幹事会・事務費			
8. 会議費	100,000	100,000	
9. 旅費交通費	700,000	700,000	
10. 広報関係費	50,000	100,000	
11. 事務局費	1,569,240	1,468,800	ホームページ固定費含む
12. 備品・消耗品	10,000	10,000	
13. 印刷費	70,000	70,000	
14. 通信費	150,000	100,000	
15. 雑費	50,000	50,000	
当期支出合計 (C)	11,359,240	11,058,800	
当期収支差額 (A-C)	150,760	163,200	
次期繰越収支差額 (B-C)	10,479,593	8,101,929	
支 出 合 計	21,838,833	19,160,729	



2017年度総会式次第

2. 審議事項

① 2016年度事業報告および2017年度事業計画

- 大会関係
- 学術・渉外担当
- 国際担当
- 編集委員会
- 広報委員会
- 教育委員会（事業担当報告含む）

② 2016年度決算報告および会計監査報告

③ 2017年度予算案

- ④ 役員人事について
- ⑤ 定款附則の変更について
- ⑥ 功労賞規程の制定について



2017年度 役員人事関係一覧 (2017年7月28日)

■ 退任

幹事 : 大山 永昭 東京工業大学
 塚本 信宏 さいたま赤十字病院
 福田 国彦 東京慈恵会医科大学

■ 新任

なし



2017年度 役員人事関係一覧 (2017年7月28日)

■ 新役員体制

注：青字は再任

会長 : 尾川 浩一 法政大学
 副会長 : 工藤 博幸 筑波大学
 佐藤 嘉伸 奈良先端科学技術大学院大学
 羽石 秀昭 千葉大学
 常任幹事 : 小尾 高史 東京工業大学
 清水 昭伸 東京農工大学
 中田 典生 東京慈恵会医科大学
 原 武史 岐阜大学
 原口 剛 コニカミルタ
 花岡 昇平 東京大学
 松田 幸夫 日立製作所
 目加田 慶人 中京大学
 山谷 泰賢 放射線医学総合研究所
 湯浅 哲也 山形大学



2017年度 役員人事関係一覧 (2017年7月28日)

■ 新役員体制 (続き)

注：青字は再任

幹事 : 石垣 武男 名古屋城北放射線科クリニック
 伊藤 聡志 宇都宮大学
 伊藤 俊英 シーメンスヘルスケア
 稲邑 清也 JICARS
 (国際コンピュータ支援放射線医学・外科学協会)
 上村 幸司 国立循環器病研究センター
 大松 広伸 網走刑務所
 岡田 和久 京都大学
 掛川 誠 浜松ホトニクス
 勝俣健一郎 国際医療福祉大学
 北坂 孝幸 愛知工業大学
 木戸 尚治 山口大学
 黒木 嘉典 新村病院、博愛会HPN東京
 真田 茂 元 金沢大学
 篠川 毅 島津製作所
 杉本 直三 京都大学
 滝沢 穂高 筑波大学



2017年度 役員人事関係一覧 (2017年7月28日)

■ 新役員体制 (続き)

注：青字は再任

幹事 : 武田 徹 北里大学
 陳 延偉 立命館大学
 土居 篤博 富士フイルム
 縄野 繁 国際医療福祉大学
 仁木 登 徳島大学
 西原 栄太郎 東芝メディカルシステムズ
 長谷川 純一 中京大学
 畑中 裕司 滋賀県立大学
 平野 靖 山口大学
 藤田 広志 岐阜大学
 細羽 実 京都医療科学大学
 増谷 佳孝 広島市立大学
 森 健策 名古屋大学
 森 雅樹 札幌厚生病院
 監事 : 安藤 裕 埼玉メディカルセンター
 川岸 将実 キヤノン



2017年度総会式次第

2. 審議事項

- ① 2016年度事業報告および2017年度事業計画
 - 大会関係
 - 学術・渉外担当
 - 国際担当
 - 編集委員会
 - 広報委員会
 - 教育委員会（事業担当報告含む）
- ② 2016年度決算報告および会計監査報告
- ③ 2017年度予算案
- ④ 役員人事について
- ⑤ 定款附則の変更について
- ⑥ 功労賞規程の制定について



2017年度総会式次第

2. 審議事項

- ① 2016年度事業報告および2017年度事業計画
 - 大会関係
 - 学術・渉外担当
 - 国際担当
 - 編集委員会
 - 広報委員会
 - 教育委員会（事業担当報告含む）
- ② 2016年度決算報告および会計監査報告
- ③ 2017年度予算案
- ④ 役員人事について
- ⑤ 定款附則の変更について
- ⑥ 功労賞規程の制定について



JAMIT定款附則の変更について

背景：

JAMIT事務局である（株）メイプロジェクト が5月に事務所を移転。それに伴い、定款附則にある事務連絡先を変更する。

旧附則：

本学会の事務連絡先を東京都大田区平和島5-1-1（株）メイプロジェクトにおく。

本定款は2016年6月22日から施行する。

新附則：

本学会の事務連絡先を東京都中央区日本橋茅場町1-6-17（株）メイプロジェクトにおく。

本定款は2017年5月2日から施行する。



功労賞規程の制定について

背景：

現状、本学会に功労のあった人の功労に報いるには「名誉会員」の制度しかない。新たに、功労のあった人を表彰する制度を設け、その功労に報いていきたいと考えており、本規程を制定したい。

功労賞規程

第1条（目的）

本規程は、本学会の運営に多大な功労のあった正会員の表彰に関する諸条件を定め、その功労に報いることを目的とする。

第2条（選考方法）

候補者の推薦があった場合には、常任幹事会に諮り、議決を得て決定する。

第3条（表彰の方法）

表彰は表彰状及び副賞を授与して行い、本会の大会期間中に公開の場で行うものとする。

第4条（委任）

表彰の詳細は常任幹事会が定めるものとする。

附 則

1. 本規程は常任幹事会の議決により改定することができる

2017年7月28日（制定）



2017年度総会式次第

1. 開会の辞
2. 審議事項
 - (1) 2016年度事業報告および2017年度事業計画
 - (2) 2016年度決算報告および会計監査報告
 - (3) 2017年度予算案
 - (4) 役員人事、他
3. 第35回大会「大会奨励賞」授賞者報告
4. 2016年度「田中栄一記念賞」(MIT誌論文賞) 授賞者報告
5. 第37回大会長の挨拶
6. 閉会の辞



2017年度総会式次第

1. 開会の辞
2. 審議事項
 - (1) 2016年度事業報告および2017年度事業計画
 - (2) 2016年度決算報告および会計監査報告
 - (3) 2017年度予算案
 - (4) 役員人事、他
3. 第35回大会「大会奨励賞」授賞者報告
4. 2016年度「田中栄一記念賞」(MIT誌論文賞) 授賞者報告
5. 第37回大会長の挨拶
6. 閉会の辞



第35回大会「大会奨励賞」受賞者報告

2016年9月メルマガおよびホームページで発表済み / 11月賞状・副賞送付

演題番号	発表者・所属・タイトル
OP2-6	田島 英朗 放射線医学総合研究所 ヘルメット型PETにおける画像再構成法の開発
OP2-7	関根 和樹 宇都宮大学 大学院工学研究科 情報システム科学専攻 体外式赤外線モニタを利用した放射線治療用コンビームCTの4次元画像再構成
OP3-2	大村 真朗 千葉大学大学院 工学研究科 エコー造影包絡の統計解析による皮膚潰瘍の細菌感染の検出
OP3-3	伊藤 一陽 千葉大学大学院 工学研究科 超音波超音波を用いた組織の異なるファットにおける局所的音響特性解析
OP5-4	佐久間 省吾 名古屋工業大学 大学院工学研究科 情報工学専攻 共焦点レーザー顕微鏡画像による肝臓毛細血管の三次元マイクロ周期構造解析
OP8-1	物部 峻太郎 名古屋工業大学 工学部 情報工学科 関形の大局的特性を考慮する大変形微小相写像
OP8-4	岩坂 幸弘 筑波大学 大学院 システム情報工学研究科 コンピュータサイエンス専攻 連続凸最適化によるMRF画像デノイズング最適化の多値への拡張
PP-20	坂 知樹 横浜国立大学環境情報研究科 学府 大動脈経路の再灌流を考慮した造影MR血流解析法
PP-26	山崎 優大 筑波大学大学院 システム情報工科学研究科 乳房超音波画像からの乳腺組織の自動抽出を利用した正常モデルに基づく腫瘍検出
PP-33	花岡 昇平 東京大学 医学部付属病院 放射線科 体部CT画像における骨質分類異常の自動検出
PP-49	倉淵 瑠子 千葉大学大学院工学研究科 術中臓器の見えを明確化する分光分布可変照明の試作



2016年 田中栄一記念賞 (MIT誌論文賞)

『大動脈経路の再灌流を考慮した造影MR血流解析』

(Vol.34, No.5, pp.245-258, 2016)

坂 知樹 1), 後藤 敏行 1), 影井 清一郎 1), 岩崎 多恵 2)

1) 横浜国立大学大学院環境情報学府, 2) 神奈川県立循環器呼吸器病センター

概要：肺野領域の血流系は、肺動脈経路と大動脈経路の2つで構成される。これまで、大動脈経路の再灌流は肺動脈経路の血流の1割以下であるために、 γ 関数の当てはめによってあらかじめその影響を排除する方法が取られてきた。本研究では、最初に肺動脈経路と大動脈経路の2つの入力をもつ血管系で構成される血流系のインパルス応答を γ 関数でモデル化することによって、再灌流の影響を評価する方法について検討するとともに、2つの血流系を分離して評価する解析法を提案する。また、これらの手法を用いた試作システムを肺がん患者の3症例に適用した。さらに、造影MR像を用いて肺野内部の局所血液量の総計と、肺動脈と左心房の信号強度から推算した肺領域全体の大域的血液量を比較した。また、肺野内を占める再灌流の割合を高速グラジエントエコーシネ (fast GE cine) より求めた心拍出量所見と比較し、妥当性を検討した。



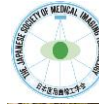
2017年度総会式次第

1. 開会の辞
2. 審議事項
 - (1) 2016年度事業報告および2017年度事業計画
 - (2) 2016年度決算報告および会計監査報告
 - (3) 2017年度予算案
 - (4) 役員人事、他
3. 第35回大会「大会奨励賞」授賞者報告
4. 2016年度「田中栄一記念賞」(MIT誌論文賞) 授賞者報告
5. 第37回大会長の挨拶
6. 閉会の辞



2017年度総会式次第

1. 開会の辞
2. 審議事項
 - (1) 2016年度事業報告および2017年度事業計画
 - (2) 2016年度決算報告および会計監査報告
 - (3) 2017年度予算案
 - (4) 役員人事、他
3. 第35回大会「大会奨励賞」授賞者報告
4. 2016年度「田中栄一記念賞」(MIT誌論文賞) 授賞者報告
5. 第37回大会長の挨拶
6. 閉会の辞



第37回 日本医用画像工学会大会 (JAMIT2018)



大会長：工藤 博幸（筑波大学）
会期：2018年7月25日（水）～7月27日（金）
会場：筑波大学 大学会館（日程、場所ともに予定）

